

福山大学 附属図書館 平成30(2018)年度 自己点検・評価書

基準1. 使命・目的等

領域：使命・目的、教育目的

2018年度

図書館

中長期計画	現代の図書館は、人類の生み出した知の集約の場であると同時に、その知の活用について、それを求める人々が集まり、新たな知を生み出す、人間の創造的な活動の場所として新たな展開を始めている。本学図書館は、本学の教育理念の1全人教育と4知行合一の教育の二点について、重要な位置を占める。特に「知行合一の教育」については、「自ら思索して得たもの」を実践することを通して「実あるものにする」ことを挙げている。この二つの教育理念を実現するべく図書館は、図書・ネット情報を同時に収集することのできる学内唯一の場所であるとともに、共通の問題意識や課題を持った学生と教員が集まり、そこに新たな知を生み出していき、まさに大学の本質的機能を果たす場となり、現代的なメディアをも活用しつつ、知の協働の中核となることを目指す。
-------	--

2018年度

図書館

中点検項目	1-1. 大学、学部、学科、研究センター及び委員会等のそれぞれの使命・目的および教育目的を設定していますか。
点検項目	① その意味・内容は具体的かつ明確ですか。
現状説明	本学図書館運営においては、建学理念にそって、理念・目標は明確に設定されている。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状維持。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①ライブラリーガイド ②HP
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 個性・特色を明示していますか。
現状説明	他大学の対応を参照しながら本学独自の読書推進システムの構築を、図書館運営委員会で決定、試行している。
年度目標	読書推進システムに関する研究助成金が採択されたため、これに基づき研究調査を実施する。
年度報告	知の創造のネットワークづくりを、読書推進システムを通して行った。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①高校教員打ち合わせ会議事録 ②高校生書評コンテスト表彰者リスト ③帯コンテストの結果
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	③ 社会の要請や背景の変化について検討していますか。
現状説明	図書館運営委員会で、AV231文科省の図書館条例、全国図書館協会の資料、新聞記事等を参考にし、種々の方策を計画、実施している。
年度目標	現状維持。
年度報告	図書館運営委員会で、文部省の図書館条例、全国図書館協会の資料、新聞記事等を参考にし、種々の方策を計画、実施している。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①第7回運営委員会(2019年1月21日)資料
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	1-2. 使命・目的および教育目的の反映
点検項目	① 使命・目的および教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られていますか。
現状説明	使命・目的および教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られている。
年度目標	現状維持。
年度報告	使命・目的および教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られている。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①第1回図書館運営委員会資料
次年度の課題と改善の方策	次年度以降は、根拠資料として運営委員会を通して、図書館の目的・理念についての確認をとることを依頼する。
点検項目	② 学内外へ公表し周知していますか。
現状説明	図書館HP、ライブラリーガイドに公表している。
年度目標	現状維持。
年度報告	図書館HP、ライブラリーガイドに公表している。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①図書館HP ②ライブラリーガイド
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 中長期的計画へ反映していますか。
現状説明	大学の建学の理念を、中長期的計画に反映している。
年度目標	現状維持。

年度報告	大学の建学の理念を、中長期的計画に反映している。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①自己点検評価書
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 三つのポリシーへ反映していますか。
現状説明	図書館は、3つのポリシーを具体化する研究・教育の中心的存在として、「人文・社会・自然科学など幅広い分野と専門分野における基礎的知識(活用できる知識)を修得する」ための読書体験を推進するべく、種々の事業を計画・実施するよう点検しながら活動している。
年度目標	読書推進システムの実施と普及にむけて活動する。
年度報告	読書推進システムの実施と普及にむけて活動した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①平成30年度図書館運営委員会第8回議事録 ②高校教員打ち合わせ会議事録 ③高校生書評コンテスト表彰者リスト ④帯コンテストの結果⑤「新入生に進める50冊の本」応募者リスト
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教育研究組織の構成との整合性は取れていますか。
現状説明	図書館運営委員会の構成を、整合性が取れたものに変更した。
年度目標	現状維持。
年度報告	図書館運営委員会の構成は、整合性が取れている。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①第1回図書館運営委員会議事録(2018年4月18日)
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

基準2. 学生

領域：学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応

2018年度

図書館

中長期計画	
-------	--

中点検項目	2-1. 学生の受入れ
点検項目	① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と学内外への周知を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れていることを検証し、学生受入れの改善に生かしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 入学生受入れ状況を昨年度及び今年度について検証し、その増減の原因を分析していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 入学定員に沿った適切な学生受入数を維持できていますか。出来ていない場合、どのような対策を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	2-2. 学修支援
点検項目	① 学修体制の整備のため、どのような教員と職員等の中でどのような協働をしていますか。また、それを学内外に公表し周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学修支援の充実のために、TA(Teaching Assistant)等を有効に活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	2-3. キャリア支援
点検項目	① 教育課程内外を通じて社会的・職業的自立に関するキャリア形成支援体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	

次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	㊦ 卒業生の進路に関する過去3年間に亘る資料を収集し、検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	㊧ 資格取得やインターンシップを支援する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	㊨ 就職指導を適切に行い、就職の質及び内定率の向上に取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	2-4. 学生サービス
点検項目	㊩ 学生生活の継続のための経済的支援は実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	㊦ 種々のハラスメントの発生防止に取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	㊧ 課外活動(サークル活動、留学等の国際交流、社会貢献活動を含む)の活性化のために、どのような取り組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	2-5. 学修環境の整備
点検項目	① 校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理をどのように実施していますか。
現状説明	利用者のアンケート調査・利用状況に基づき、図書館のフロアの改善を計画的に行っている。
年度目標	フロア改善、貴重書室の機能強化について、予算申請する。
年度報告	フロア改善、貴重書室の機能強化について、予算申請し、採択された。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①2019年度予算申請書
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	② ICT教室、実習・実験施設、図書館等を活用していますか。
現状説明	ノートパソコンの貸与、ラーニングコモンズの整備、複写依頼の受付を行っている。
年度目標	図書館サーバーのリプレイスを実施し、ディスカバリーの導入を予算申請する。
年度報告	サーバーのリプレイスは実施したが、ディスカバリーの導入は、次年度大学予算の計画の都合上、下ろした。
達成度	B
改善課題	
根拠資料	①2019年度予算申請書
次年度の課題と改善の方策	ディスカバリーの導入を引き続き予算申請する。
点検項目	③ 施設・整備のバリアフリー化やアメニティスペースの確保など、学生の利便性を高めるために、どのように取組んでいますか。
現状説明	フロアの改修を行い、アクティブスペースとサイレントスペースを分けて、利用しやすくしている。
年度目標	ラーニングコモンズ拡張の計画をし、予算申請する。
年度報告	ラーニングコモンズに椅子、机を追加した。
達成度	B
改善課題	
根拠資料	①第1回図書館運営委員会議事録(2018年4月18日)
次年度の課題と改善の方策	次年度の大学予算計画の都合上、拡張の予算申請は見送った。次年度引き続き予算申請を行う。
点検項目	④ 授業を行う学生数等を考慮した適切な施設・設備上の管理をしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 施設・設備の管理において、防災・防火の観点から整備点検を行っていますか。
現状説明	職員が防火のための訓練を行い、防火責任者が整備点検している。
年度目標	昨年通りに実施する。
年度報告	昨年通りに実施した。
達成度	A

改善課題	
根拠資料	①平成30年度安全衛生委員会議事録
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑥ 施設内に保管している劇物・危険物の管理において、安全管理の観点から管理システムを整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑦ 学生及び教職員の安全確保のために、各部署に適切な安全管理教育の実施、災害時避難マニュアルの作成及び防災訓練等を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	2-6. 学生の意見・要望への対応
点検項目	① 学修支援に関する学生の意見・要望を把握する体制やその分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

点検項目	② 心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望を把握する体制やその分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 学修環境に関する学生の意見・要望を把握する体制やその分析と検討結果を活用する体制が整備されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

基準3. 教育課程

領域：卒業認定、教育課程、学修成果

2018年度

図書館

中長期計画	
-------	--

2018年度

図書館

中点検項目	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定
点検項目	① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーは、学内外に周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準(ルーブリック等の評価指標を含む)等の策定はどのように行われ、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を公表し、厳正に適用されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	3-2. 教育課程及び教授方法
点検項目	① カリキュラム・ポリシーを策定し、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの間に一貫性がありますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程を体系的に編成していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	④ 教養教育は専門教育とともに十分に実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑤ 教授方法を工夫・開発(ICTの活用を含む)し、効果的に実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑥ ディプロマポリシーと卒業判定の整合性を考えていますか。
現状説明	
年度目標	

年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	3-3. 学修成果の点検・評価
点検項目	① 全学及び各学科等のアセスメントポリシーの活用も含め、三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバックはどのように実施されていますか。学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導等の改善につなげていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

基準4. 教員・職員

領域：教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援

中長期計画	現代の新しい図書館のあり方(資料のあるところに人が集まり、そこから新たな知を創造する)を実現するため、図書館のフロア改修と書庫の増設は不可欠である。これからの図書館は、地域の人々が集まり、産学の連携の接点になる場所でもある。長期的には、それに相応しい場所に、新たなメディアセンターとしての図書館を新設することを考える必要がある。それまでは、現状の図書館を現代の図書館に求められる形に改修する必要がある。1年後をめどとして、人が集まって談話する場所(ラーニングコモンズ)の増設、学修支援についての相談コーナーの設置など、他の部署との連携スペースを設けるなどの、改修を推し進める。計画・実行・成果の評価については、図書館運営委員会と図書館事務局で行い、次年度の計画に反映させる。
-------	---

中点検項目	4-1. 教学マネジメントの機能性
点検項目	① 大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップが確立され、それが発揮されていますか。当該部署の長は当該部署の教学マネジメントにおいて適切にリーダーシップを発揮していますか。
現状説明	現状では図書館には学長に任命された専任教員が、附属図書館長・分館長として在籍している。附属図書館では、学長の下で図書館長・分館長が事業について提案するとともに、図書館運営委員会での協議を経て決定、図書館事務長、事務長補佐、その他司書4名の職員がこれを実施する。図書館運営委員会は、各学部長、大学教育センター、共同利用センターと連携して運営され、図書館の教学マネジメントにおいて図書館長・分館長は、適切にリーダーシップを発揮している。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状の通り実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①平成30年度図書館運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 当該部署では、教職員間で権限・役割を適切に分散し、かつそれぞれの責任を明確化した教学マネジメントを実施していますか。
現状説明	図書館運営委員会では、企画部会と選書部会の二つのグループを編成し、読書にまつわる企画の実施、選書の実施をそれぞれで分担して行っている。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状通り実施した
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①第1回図書館運営委員会議事録(2018年4月18日)
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	③ 職員の配置と役割の明確化などにより、教学マネジメントの機能性を高めていますか。
現状説明	図書館の窓口は教学の意見を知る大切な場所でもあり、全員で分担し、職員間での情報共有を行ったうえで業務を遂行している。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状通り実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①広島県大学図書館協議会職員名簿
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	4-2. 教員の配置・職能開発等
点検項目	① 当該部署の教育目的及び教育課程に即した資質を有する教員を配置していますか。また、当該部署の適切な運営及び継続性を担保する構成(性別、年齢、職階等)となっていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 大学設置基準、教職課程等の資格養成機関に求められる教員数を確保していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ FD(Faculty Development; 教育内容・方法等の改善)をはじめとする教員の資質向上に向けた取組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	

年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	4-3. 職員の研修
点検項目	① SD(Staff Development;教職員の個々の職能開発)をはじめとする大学運営に関わる教職員の資質・能力向上と教職協働への取り組みを実施していますか。
現状説明	司書の研修の機会を、前年度よりも増やし、司書の能力の向上に努め、学内で開催される研修には積極的に参加している。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状通り学内外での研修に参加した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①出張報告書
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 大学運営の効率改善のために ICTの活用を推進していますか。
現状説明	図書館の業務全般に、ICTを全面的に活用、推進している。
年度目標	現状維持。
年度報告	図書館システムと学内認証との連携をとった。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①データベース講習会案内文書 ②学長室ブログへの掲載 ③図書館ホームページ
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	4-4. 研究支援
点検項目	① 研究に専念する時間の確保、研究室の施設設備の整備等の研究環境を適切に管理していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 研究倫理の確立(規則の整備や検査等)と厳正な運用が行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 研究活動への資源の配分や運用は適正に行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	④ 公的研究費の運営・管理(ガイドライン等)が整備され、周知されていますか
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

基準6. 内部質保証**領域：組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル**

中長期計画	内部質保証のあり方について、定期的な利用者アンケート(学生と教職員)を4年ごとに行い、それに基づくPDCAのサイクルを実施している。毎年の自己点検は、入退館者数、利用冊数、利用時間数、図書受け入れ冊数(学生図書、リクエスト、教員の研究費の執行状況)、データベース利用状況等の集計と分析等データを把握し、図書館運営委員会の自己点検評価委員会で、毎年度末に現状の確認と改善方策を決定し、次年度の計画に反映している。
--------------	---

中点検項目	6-1. 内部質保証の組織体制
点検項目	① 内部質保証のための組織を整備し、責任体制を確立していますか。
現状説明	図書館運営委員会の中の自己点検評価委員会で言い、その責任者は図書館長である。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状通り実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①第1回図書館運営委員会議事録(2018年4月18日) ②第8回図書館運営委員会議事録(2019年3月12日) ③福山大学附属図書館自己点検評価委員会細則
次年度の課題と改善の方策	

中点検項目	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価
点検項目	① 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価が実施され、その結果を当該部署の教職員が共有していますか。
現状説明	図書館運営委員会、図書館事務長を初め図書館職員が行い、これを共有している。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状通り実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①平成30年度図書館運営委員会配布資料(図書館利用統計資料)
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② IR(Institutional Research)等を活用した十分な調査・データの収集と分析を行っていますか。また、その結果を改善に活かしていますか。
現状説明	学内の学修支援システムcerezoのアンケート機能を利用した利用者アンケートを実施、そのデータ分析に基づく改善策を決定し、実施している。
年度目標	現状維持。

年度報告	図書館の読書推進システムにまつわる利用者アンケートを実施、そのデータ分析を運営委員会で共有した。
達成度	S
改善課題	
根拠資料	①第8回図書館運営員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	6-3. 内部質保証の機能性
点検項目	① 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組み(システム)をどのように確立し、その機能性を検証していますか。
現状説明	PDCAサイクルを実施しつつあるが、そのシステムの機能性については、来年度以降調査検証することになっている。
年度目標	読書推進システムが、学生の読書率、読書力向上に機能するかを中心に、検証する。
年度報告	読書推進システムが、学生の読書率、読書力向上に機能するかを中心に、検証した。
達成度	A
改善課題	参加が一部の学生に留まっているので、参加学生を増やす。
根拠資料	①第8回図書館運営員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 教職員のコンプライアンスを確立するための体制を整備していますか。
現状説明	図書館運営委員会、及び職員のミーティングで、文科省の図書館に関する法令を確認しており、その体制を整備している。
年度目標	現状維持。
年度報告	現状通り実施した。
達成度	A
改善課題	
根拠資料	①ミーティングメモ
次年度の課題と改善の方策	

2018年度

図書館

基準7. 福山大学ブランディング戦略

領域：本学独自基準と点検・評価

2018年度

図書館

中長期計画	
-------	--

中点検項目	7-1. 福山大学ブランディング戦略の推進
点検項目	① 福山大学ブランディング戦略 (ver. 2018) の概略について当該部署の学生及び教職員への周知を進めていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 福山大学はブランディングを「広告ではなく、社会に貢献する観点から他にはない固有の魅力を引き出して他との差別化を図り、社会から選ばれること」と捉えています。この観点からブランディングにどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング戦略では「備後地域の産学官民連携を推進し、地域の教育資源を最大限に活用して人間性を高め、地域を愛し、地域で活躍し、地域から国際社会につながる『未来創造人』を育成すること」を方針としています。当該部署は、この方針の実現にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	④ 福山大学ブランディング戦略では、福山大学が備後地域の知の拠点として地域と共に育ち、地域創生に貢献することを目標としています。この目標の実現に向けて、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 福山大学ブランディング戦略では、建学の理念に基づき、「地域の中核となる幅広い職業人」を、育成する人材像としています。そのために、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「備後地域との密な連携のもとに進める教育研究」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑦ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「学問にのみ偏重しない全人教育」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	

2018年度

図書館

中点検項目	7-2. 福山大学ブランディング推進のための研究プロジェクト
点検項目	① 当該部署では全学的に展開しているプロジェクト研究の「瀬戸内の里山・里海学」にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② 福山大学ブランディング研究に必要な内部資金及び外部資金をどのように獲得していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング研究の成果をどのように社会に発表していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	